令和元年度各学年における検証改善サイクル スケジュール　～学力調査等との関連から～

尾道市立　土堂　小学校

H30年	1月	2月	3月	R01年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H31学年
全学年					モジュール授業 主体的な学び	モジュール授業 研究	授業研究 PDCA検証部会	授業研究 モジュール研修 資質・能力の研修	指導案検討			公開研究会	尾道市学力調査 （1～4年）	標準学力テスト （5,6年）	標準学力テスト結果分析		
					年間を通じて，モジュール学習や主体的な学びの実践を全学年が確実に進める。												
				小1								学力向上プロジェクト					小2
小1				小2									12/17市調査				小3
												学力向上プロジェクト					
小2		課題の系統分析		小3													小4
										単元終わりに過去問を解く		学力向上プロジェクト					
小3				小4												結果分析	小5
												① 「基礎・基本」プレテスト					
										単元終わりに過去問を解く							
															学力向上プロジェクト		
小4	1/10 市調査	結果分析		小5	課題改善に向けた取組			採点・結果分析 課題改善に向けた授業実践				② 「全国」プレテス ③ 検証テスト		学力向上プロジェクト			小6
										単元終わりに過去問を解く							
														1/9本校調査			
小5				小6	4/18「全国」調査 採点・結果分析 課題改善に向けた授業実践					単元終わりに過去問を解く		④ 検証テスト	課題改善に向けた取組				中1
				研究主任	本校の今年度の研究内容と研修予定を周知する モジュール授業の取組内容と実践研修	校内研修 授業研究	校内研修 授業研究	資質・能力にかかわる児童アンケートを3～6年で実施する。	PDCA検証部会				「基礎・基本」定着状況調査の児童アンケートを3～6年で実施する。			めざす児童の姿の達成	次年度の目標の設定
				教務主任	全国学力・学習状況調査 自校採点及び分析							来年度に向けての学力向上プロジェクト計画を立て，全職員で取り組む。					
				教頭				進捗状況の確認					進捗状況の確認		進捗状況の確認		
	課題となった設問、領域等の改善に向けた授業改善			国語		課題となった設問、領域等の改善に向けた授業改善		課題となった設問、領域等 全国学力 国語　設問（1三）　正答率（56.1）無答率（7.3） 算数　設問（3（2））正答率（48.8）無答率（4.9） 市学力調査 国語　設問（6（1））正答率（38.9）無答率（0） 算数　設問（15）　正答率（44.4）無答率（0） 理科　設問（9（2））正答率（41.7）無答率（0） 社会　設問（3（4））正答率（34.7）無答率（0）		＜具体策＞ ・条件を付けたり，説明文での大切な言葉を使ったりして書く練習をする。		「尾道版『学びの変革』」推進事業 質問紙 学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。 (3)年　6・7月（78）→12月（78） (4)年　6・7月（77）→12月（85） (5)年　6・7月（87）→12月（86） (6)年　6・7月（83）→12月（85）		学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。 (3)年　6・7月（76）→12月（78） (4)年　6・7月（85）→12月（77） (5)年　6・7月（95）→12月（92） (6)年　6・7月（79）→12月（85）		
		市の学力調査分析		社会								＜具体策＞ ・資料から分かることを自分の言葉で説明する活動を設定する。					
	課題となった設問、領域等の改善に向けた授業改善			算数		課題となった設問、領域等の改善に向けた授業改善						＜具体策＞ ・学習の振り返り等で，友達の考え方を解釈したことを，自分の言葉でまとめさせる。					
		市の学力調査分析		理科								＜具体策＞ ・満月と半月では，同時刻に見える位置が違うことを，観察を通してまとめさせる。					